

大学史教育を通じた進学適性の自覚促進に関する研究（1）

— 中等教育と高等教育の接続関係改善に向けた大学情報提供の在り方について —

小宮山道夫 西原 利典

1. はじめに

中等教育と高等教育との接続関係を考えれば、生徒の進学適性を考慮しながら、高等教育機関が優秀な生徒を適切な方法で選抜する必要があることは言を俟たない。進学先と生徒の適性とを適合させるためには、適切な大学情報を提供することを通じて、生徒自身に自らの適性を見つめ直させる機会を提供する必要があるだろう。

本研究は広島大学附属高等学校（以下、附属高）生徒の進学適性に対する自覚の形成に、大学情報の提供、とくに大学史教育がどのように寄与できるかを考察しようとするものである。本研究は平成18年度より20年度まで「自校史教育が高校生の進路選択に及ぼす影響に関する研究（1）～（3）」として実施してきた研究を継続し発展させた課題である。これまでの考察の結果、一学年全体の2割程度が進路選択の変更を行うなど、自校史教育は生徒に進学について考える機会を提供する上で重要な意味を示すことがわかってきた。詳細については『広島大学 学部・附属学校共同研究機構研究紀要』（第35～37号、2007年～2009年）を参照したい。

今回は、これまでの研究方法に3つの変化を加えて実施した。一つは附属高の第1学年の生徒全員に対し

て総合学習の時間を用いて一律に行っていた講義の形式を改め、附属高主催の進路学習の一環として行われる大学訪問の一プログラムとして講義を組み込んだこと。もう一つはそのことにより附属高の自校史の講義を省き大学史の講義のみとしたこと。そしてもう一つは大学史の講義を受けさせた集団（広島大学東広島キャンパスを訪問した集団）と受けさせなかった集団（広島大学霞キャンパスを訪問した集団）とを設けて、2集団間の違いを考察する方法に変更したことである。

2. 研究の対象および事前調査の内容

平成21年度の附属高第1学年の生徒199名を対象に、生徒にとって比較的身近な広島大学を例にして日本の大学教育制度に対する理解を深めさせる講義「日本の大学の歴史」を提供した。これらの授業の前後にアンケート調査を実施し、生徒たちの意識の変化をみた。

対象生徒数および回答者数については表1にみるとおりである。表中の括弧内の数字は女子で内数を表す（以下同様）。生徒199名のうち、事前調査に回答を得られたのは194名分であった。事後調査については、大学訪問で東広島キャンパスを訪問し、「日本の大学の歴史」の講義を受けた生徒122名分（東広島）、霞キャンパスを訪問し、「日本の大学の歴史」の講義を受けなかった生徒70名分（霞地区）の計192名の回答を得た。

事前調査ではこれまでの調査と同様に、調査対象の過去の進学動向を調べるため、附属中学校や附属高への進学理由を質問した。附属中学出身者数は表2にみるとおりである。

表1 附属高校第1学年生徒数及び回答者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
生徒数	39 (18)	40 (20)	40 (19)	40 (19)	40 (20)	199 (96)
事前調査 回答者数	36 (16)	40 (20)	39 (18)	39 (19)	40 (20)	194 (93)
事後調査 回答者数	35 (15)	38 (19)	40 (18)	39 (19)	40 (20)	192 (91)
(内訳) 東広島	25 (9)	27 (14)	24 (12)	20 (7)	26 (14)	122 (56)
霞地区	10 (6)	11 (5)	16 (6)	19 (12)	14 (6)	70 (35)

表2 附属中学出身者数

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A Yes	21 (10)	23 (12)	23 (12)	25 (14)	23 (13)	115 (61)
B No	15 (6)	16 (7)	16 (6)	14 (5)	17 (7)	78 (31)

KOMIYAMA Michio, NISHIHARA Katsunori : A Survey and Study of the consciousness progression on the high school student's higher education selection by the lecture of History of University. (1)

附属中学校出身者115名に対し、その進学理由を最大3つまで回答させた結果が表3で、同様に附属高の生徒全員に進学理由を回答させた結果が表4である。

表3 附中への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	14 (7)	16 (11)	11 (6)	17 (9)	15 (9)	73 (42)
B 男女共学	10 (7)	10 (7)	7 (6)	9 (7)	6 (4)	42 (31)
C 兄弟	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	8 (4)
D 親の勧め	4 (1)	7 (3)	6 (4)	10 (7)	10 (7)	37 (22)
E 歴史・伝統	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	5 (1)
F 大学進学率	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (2)
G 校風	9 (5)	11 (8)	2 (2)	6 (2)	9 (6)	37 (23)
H 先生の勧め	0 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (3)	2 (1)	7 (5)
I 親が卒業生	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	6 (5)
J 他にない	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)
K 通学の便	4 (1)	5 (2)	3 (1)	2 (2)	2 (0)	16 (5)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
M 授業の質	0 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	5 (3)
N 世間の評判	3 (0)	0 (0)	2 (2)	4 (2)	3 (0)	12 (4)
O その他	7 (3)	6 (3)	9 (6)	4 (1)	2 (2)	28 (15)

表4 附高への進学理由（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 中高一貫	15 (8)	21 (14)	17 (7)	16 (10)	16 (10)	85 (49)
B 男女共学	9 (5)	10 (9)	8 (4)	10 (7)	7 (4)	44 (29)
C 兄弟	3 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (1)	3 (1)	11 (3)
D 親の勧め	3 (1)	3 (0)	3 (2)	9 (4)	5 (2)	23 (9)
E 歴史・伝統	0 (0)	1 (1)	4 (0)	6 (2)	5 (3)	16 (6)
F 大学進学率	5 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	5 (1)	21 (7)

G 校風	10 (5)	17 (11)	7 (5)	13 (5)	12 (8)	59 (34)
H 先生の勧め	6 (3)	6 (3)	2 (0)	5 (4)	5 (4)	24 (14)
I 親が卒業生	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (1)
J 他にない	6 (3)	6 (0)	5 (3)	4 (2)	6 (4)	27 (12)
K 通学の便	3 (0)	5 (3)	4 (1)	3 (3)	1 (1)	16 (8)
L 同窓会	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (0)
M 授業の質	3 (1)	2 (1)	4 (2)	5 (3)	2 (2)	16 (9)
N 世間の評判	5 (1)	3 (2)	6 (3)	8 (3)	6 (2)	28 (11)
O その他	4 (2)	10 (5)	5 (3)	5 (2)	7 (4)	31 (16)

このような母集団に対し、大学進学についてどの程度具体的に考えているか、また大学や広島大学についてどの程度関心をもっているかを調べたのが、講義に先だって行った事前調査である。以後、紙幅の都合で調査結果の表のみを掲載する。

表5 進学大学の具体化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 考えている	22 (10)	15 (10)	28 (14)	18 (9)	20 (11)	103 (54)
B 考えていない	13 (5)	25 (10)	9 (3)	21 (10)	19 (8)	87 (36)

表6 進学大学の所在地

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 北海道・東北	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (1)	2 (0)	7 (1)
B 関東	8 (2)	8 (5)	10 (5)	5 (1)	8 (2)	39 (15)
D 東海	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (0)
E 近畿	9 (4)	7 (3)	21 (8)	17 (10)	15 (9)	69 (34)
F 中国	9 (4)	6 (4)	20 (11)	10 (3)	11 (6)	56 (28)
G 四国	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (2)
H 九州・沖縄	5 (2)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (1)	14 (3)
I 外国	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)

注：「C 甲信越・北陸」は回答者なし

表7 志望校（または大学所在地）とその動機
（丸番号は志望順位，[]内はその理由）

男子（37回答）

I. 目標確定型（10回答）

①国立筑波大学理学部生物科[昆虫を最高の施設で研究できるから]／①国立大阪大学工学部地工学科，②国立京都大学工学部環境エネルギー工学科[環境問題の解決に携わる職業に就くことを考えているため]／①国立東京芸術大学芸術学部グラフィックデザイン科，②私立多摩美術大学芸術学部グラフィックデザイン科，③私立東京工芸大学芸術学部グラフィックデザイン科[自分の就きたい仕事を考えるうえで、もっとも理想的な大学でありまた単純に自分の能力を高めるという点で、ぜひそこで学びたい]／①国立一橋大学法学部法律学科，②国立神戸大学法学部法律学科，③私立中央大学法学部法律学科[レベルの高い所で勉強をしたいから]／など

II. 情報把握型（10回答）

①国立京都大学医学部医科[IPs細胞がすごいから]，②国立広島大学医学部医科[近いから]，③国立広島大学薬学部薬科学科／①国立東京工業大学第4類学部[有名な教授がおられるので]，②国立筑波大学工学部[研究がさかんらしいので]／①国立一橋大学法学部，②私立早稲田大学政経学部，③私立慶應大学法学部[政治への道がより広く広げているから]／①国立広島大学[オープンキャンパスでいい学校だと思ったから]，②国立東北大学[旧帝大だから]／①国立広島大学医学部医科[広島大学は、小学校の時、先生の授業、教育実習の先生の話を書きいて行きたいと思った]，②国立山口大学医学部医科[父の出身]，③国立岡山大学医学部医科[夢]／など

III. 支持共感型（9回答）

①国立京都大学工学部[親戚の母校だしレベルも高いから]，②国立大阪大学工学部，③国立広島大学医学部医学科／①私立早稲田大学[校風が良い 高いレベルの授業やゼミがある]／①国立岡山大学理学部理学科[兄もいって、何度か町にもいったが良いところだったから]／①国立筑波大学医学部医学科[難関校と呼ばれているから 兄弟が近くに住んでいるから]／など

IV. 近隣志向型（2回答）

①国立広島大学医学部医科[近くてまあまあ良いから]／①国立広島大学工学部四類[広島だから]

V. 環境変革型（4回答）

①私立早稲田大学人文学部，②国立東京大学文Ⅲ学部[町が好き、あと東京とか都会。ただ早稲田に関しては村上春樹とか見てると行きたくなった]／①国立北海道大学薬学部，②国立東北大学薬学部，③国立大学[寒い所が好きだから]／など

VI. その他（2回答）
①国立九州大学薬学部／①国立九州大学，②国立広島大学[とくになし]

女子（44回答）

I. 目標確定型（13回答）

①国立京都大学医学部医科，②国立広島大学医学部医科[将来は医者になりたいので医学部 学校は雰囲気は附属に似てそうなところから選択]／①国立東京大学文学部仏文科，②ソルボンヌ大学，③国立東京外国語大学仏語科[将来の夢に一番近いと思うから]／①国立広島大学教育学部国語文化コース，②国立京都大学文学部[教員か、図書館の司書になりたいから]／①広島大学医学部保健学科[理学療法士になりたいから]／①国立京都大学医学部医科，②国立大阪大学医学部医科，③国立広島大学医学部医科[医者になって、ERで働きたいから]／など

II. 情報把握型（8回答）

①国立九州大学医学部医学科，②国立岡山大学医学部医学科，③国立広島大学医学部医学科[親にすすめられた]／①国立京都大学薬学部薬科学科，②国立京都大学理学部[研究費が東京大学の次に多いと聞いた。自由な校(?)風，レベルの高さ]／など

III. 支持共感型（7回答）

①国立神戸大学発達科学部人間形成科，②国立広島大学教育学部[みりよくをかんじた]／①国立大阪大学文学部人文学科[大学の総長が好きだから]／①国立京都大学農学部[京都大学の校風が附属と似ているし、中学のころからあこがれがあったので。]／①国立北海道大学獣医学部獣医学科[キャンパスが広いから。]

IV. 近隣志向型（6回答）

①国立広島大学法学部法学科，②国立広島大学経済学部[あまり県外に行こうと思わないから]／①国立広島大学医学部保健学科[国立だし、広島だし、化学とか理科がないから]／など

V. 環境変革型（3回答）

①法学部[県外に出て一人で暮らしてみたい]／など

VI. その他（7回答）

①国立神戸大学、②国立広島大学[関東の方には出たくない。国立大学だから。]／①国立大学[自分にとって魅力があるから]／など

表8 進路決定に影響のあるもの（第1位）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	4 (0)	1 (1)	2 (1)	3 (2)	3 (2)	13 (6)
B 母親	3 (2)	3 (2)	9 (7)	2 (2)	6 (5)	23 (18)
C 兄弟	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)
D 祖父母	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
E 親類	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
F 教師	2 (0)	2 (0)	4 (3)	2 (1)	1 (0)	11 (5)
G 友人	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
H その他	2 (0)	4 (3)	4 (2)	1 (0)	1 (0)	12 (5)

表9 進路決定に影響のないもの（複数回答）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 父親	5 (1)	5 (2)	6 (3)	2 (0)	4 (3)	22 (9)
B 母親	3 (0)	3 (1)	2 (1)	2 (0)	2 (1)	12 (3)
C 兄弟	9 (2)	7 (3)	10 (6)	5 (0)	7 (4)	38 (15)
D 祖父母	11 (3)	8 (4)	13 (7)	5 (0)	7 (4)	44 (18)
E 親類	11 (3)	6 (4)	11 (7)	3 (0)	8 (5)	39 (19)
F 教師	6 (1)	5 (5)	6 (2)	3 (0)	4 (3)	24 (11)
G 友人	9 (2)	6 (4)	10 (4)	3 (0)	6 (4)	34 (14)
H その他	6 (1)	3 (1)	4 (1)	2 (0)	5 (3)	20 (6)

表10 大学に期待すること

就職に役立つこと（34件・19.9%・なりたい職業になるための能力を身につけるためのこと／なりたい職業の資格や免許がとれる／教育の充実、試験（司法試験）などの高い合格率／など）
質の高い教師や教育内容（30件・17.5%・専門的

な知識を得ること／授業または研究に興味や意欲がでてくるような大学／レベルの高いゼミと生徒／など）

自分の能力を高められること（13件・7.6%・才能を磨き、社会に出て働けるような人に成長させること／学びたい人が学びたいことを学ぶためだけに学べる場所であること。就職等に関係なく純粋に学びたいことを学べる場であってほしい／など）

楽しいキャンパスライフ（23件・13.5%・楽しい大学生活／サークル、又、一つの学問に熱中できること／など）

質の高い教育研究環境（13件・7.6%・自分の学びたいことを充実した環境で学びたい／設備、教育環境の充実／広いキャンパス／など）

自由（26件・15.2%・やりたいことを学べる／自分の個性が発揮できる／自由な生活／自由な実験／など）

人との出会い（5件・2.9%・色々な考え方ができる人／人脈／自分の学びたいことを楽しく学べ、競い合える仲間がいること／など）

その他（17件・9.9%・いろいろ／アメリカのようにしてほしい／安い授業料／自分に合っている／など）

わからない（10件・5.8%）

表11 大学のイメージ

自由（64件・勉強においても生活においても自由であると思う（例：自分のしたい勉強ができる）／自由／自由、バイト、好きなことを学べる／など）

楽しそう（30件・若いエネルギーの満ち溢れる場所／バイトをしたり、趣味のあう友達を見つけたりして楽しそう／おもしろいところ／など）

高度な教育研究（27件・専門的なことを学ぶ、わりと暇が多い／難しそう。勉強についていけるか／など）

自律的な学習・生活（24件・自分で選択して学ぶイメージ／個々の意識によってどんな場所にも変わる／頑張っている人は頑張っているが、やる気のない人はなにもしてない／など）

充実した教育研究環境（8件・広い。緑がいっぱい／実験の器具とか資料とかがたくさんある／など）

その他 (22件・人生のターニングポイント、その後の人生がある程度きまる／道がせまくなる／高校とそんな変わらない／いかないとかばい／など)

わからない (6件)

表12 今回の授業内容への興味

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とてもある	1 (0)	3 (3)	2 (2)	4 (3)	3 (2)	13 (10)
B 少しある	10 (6)	11 (5)	8 (3)	15 (8)	12 (9)	56 (31)
C どちらとも いえない	14 (6)	19 (10)	24 (9)	17 (7)	13 (4)	87 (36)
D あまりない	6 (4)	3 (2)	5 (4)	1 (1)	6 (3)	21 (14)
E 全くない	5 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (1)	13 (1)

表13 興味ある理由

自分とは全く別の観点だから／何か見つかるかも知れない／広大に興味があるから／大学についてまだまだ知らないことが多いと思うから／将来が見えるかもしれない／「大学とは何か」が気になったから／入試に関するから／進路について考えている今、丁度よかったから／自ら考えて受験大学を選択したい／自分の県の代表といえる大学について知りたいと思ったから／大学のしくみを理解できそうだから／など、66回答

表14 興味がない理由

広島大学が第一志望じゃないから／歴史は苦手なので…／けっきょく広島大学へのかんゆうでおわりそうだから／めんどろ／別紙読んでも意味わかんかった／直感的に興味をひかれなかった／きかなくてもまあよさそうだから。難しそうだから／よくわからない／あまり身近に感じない／そそられない／広大のことしか言わないのかと思った／など、34回答

表15 大学史の授業に期待すること

とくにない／広い視野での授業／大学での生活の内容が少しでも具体的に分かればいいかなと思ってる／概要がばくぜんとしすぎていてよくわからないので、とりあえず実用的なことを教えてほし

い／違いをはっきりしてほしい／将来につながる／広島大学のめざす大学のあり方について知りたい。近年の受験生数減少についての対策／法外部というところでどんなことをしているか空気に触れられたら良い／寝る人のいない、質のよい授業(みなに興味ひかれる)／どんなことが学べるかわかる／など、83回答

表16 今回の大学訪問に期待すること

広島大学だけでなく全国の大学にほとんど共通の学部のとくちょうをしりたい／雰囲気がかめたらいいと思う／何をやってるかがわかること／学食／大学での生活の内容が少しでも具体的に分かればいいかなと思ってる／大学を身近に感じられる／自分の将来について考えられる体験／大学の授業などのイメージがつかめること／大学とはどのようなものか、できるだけ詳しく知る／普段見れないものが見えること／大学というものを体験できる／何が学べるのか知れること。雰囲気。設備、機械。食堂も／施設見学／たのしければいい／大学で研究できることなどを聞きたいと思います／など、174回答

表17 広島大学への進学について

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A したい	2 (1)	2 (2)	3 (2)	2 (0)	2 (2)	11 (7)
B できれば したい	11 (5)	13 (9)	11 (6)	8 (3)	9 (5)	52 (28)
C どちらとも	16 (8)	14 (5)	20 (5)	22 (13)	21 (10)	93 (41)
D できれば したくない	4 (1)	3 (1)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	14 (5)
E まったく したくない	3 (1)	7 (3)	4 (4)	1 (0)	5 (2)	20 (10)

表18 進学したい理由

地元で、いい大学なんじゃないかと思うから／県内だし、広大の教育学部はいいって聞くので／家から通える、親への負担が少ない／地元だから／一応附属生なので／地元だから／へんさちが高いから／行きたい学科があるから／ふるさと粋が魅力的／家から近いし生物生産学部に魅かれるから／家から通える、国立、そこそこアルバイトしやすい金がかせぎやすい／県内・国立だから／など、60回答

表19 広島大学を決めかねる理由

別に躊躇しているわけではないが、まだはっきりと目標を決められるだけの知識（情報）を持っていないから／目標とするならばもっと難しい大学の方がいいと思うから／まだよく大学のことを知らない／場所がビミョー／他の大学の情報ももちたい／特に行きたい理由がない／広島じゃないところに行きたいから／まだ何を学びたいか決定していないし、広大の何学部何学科に行けば自分の学びたいこと（まだ決定していないけど）が学べるかわからないから。もしかしたら、広大では扱っていないかもしれないし／他に行きたい大学がある／やはり第一志望は京都大学。後期に受けるかも／成績が上がったら別の大学にしたい／広島は好きだが広島県外へ出てみたいという気持ちがある／など、91回答

表20 進学したくない理由

第一志望校ではないから／周りに何も無いから寒いから／あまりおもしろそうでない。全国にはもっとおもしろい大学があると思う／家が近くで楽しくなさそう／超難関大学ではないと思うから／もっと高いレベルの大学へ進学したいから／魅力を感じない 田舎すぎる 神学部がない／・家から近すぎる ・あまり将来の夢に近くない／県外に出たいから／広島を出て広い世界に出て自立して生活したり、自分の世界を自分でつくりたいから／希望する学部がないから／広島から外に出たいから 父親が働いているから／広島を出たいから／東京に行きたいから／地方というイメージがあるから／もっと上に行かないといけなから／よく知らないから。また、理系があまり有名でないので、立地があまりよくないで／興味がわからないし、広大だと1人暮らしができないから／など、33回答

表21 広島大学のイメージ

ふつーの大学／広島で一番の大学／自分で決定する要素が多いイメージ／かっこいい／自分の身内に出身者が多い／近い／自由な感じ／研究がよさそう。自然がいっぱいで平和／学生が充実した大学生活を送っているようで楽しそう。広い／悪い／雰囲気が良さそうで、安心できそうな大学／田舎にある、教育や物理科学がすごいらしい／医学

部のレベルが高い／山奥にある／設備が古そう／きれい。えらい。広い。緑がいっぱい／今研究者がこぞって研究している分野ではない研究もたくさんし、おもしろい研究をたくさんしている／地元の大学。教育学部が有名／自由／たのしそう／のびのびと学習ができそう／地元出身の人が多そう／家から近い／田舎にあるなあってイメージ 街中にあればもっと魅力が増すと思う／など、156回答

3. 事後調査の結果

事後調査では、講義「日本の大学の歴史」を受けた集団に対しては、講義についての受講前の期待との適合度、内容への興味、難易度、満足度などを質問した（表22～27）。また、講義を受けなかった集団を含めた全体共通の質問として、広島大学に関する認識、志望校、広島大学への進学希望の変化の有無を尋ねた。

表22 講義の期待適合度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 期待通り	1 (0)	4 (1)	2 (0)	4 (2)	4 (3)	15 (6)
B ある程度期待通り	14 (4)	11 (6)	9 (5)	11 (4)	11 (6)	56 (25)
C どちらでもない	9 (5)	9 (5)	11 (6)	4 (1)	9 (5)	42 (22)
D あまり期待通りではない	1 (0)	3 (2)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	7 (3)
E 期待はずれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)

表23 講義の内容への興味（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても興味を覚えた	1 (1)	3 (0)	2 (0)	4 (1)	2 (1)	12 (3)
B 興味を覚えた	7 (2)	8 (4)	10 (7)	5 (2)	6 (4)	36 (19)
C どちらでもない	15 (5)	10 (5)	8 (2)	10 (4)	13 (7)	56 (23)
D あまり興味を覚えなかった	0 (0)	4 (3)	3 (2)	1 (0)	3 (2)	11 (7)
E 全く興味を覚えなかった	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	4 (1)

表24 講義の難易度（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても難しかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

B 難しかった	3 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	7 (2)
C 適度だった	19 (8)	21 (12)	18 (9)	17 (6)	18 (10)	93 (45)
D 易しかった	3 (0)	3 (0)	6 (3)	0 (0)	5 (3)	17 (6)
E とても易しかった	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (2)

表25 講義の満足度 (東広島のみ)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても良かった	3 (1)	2 (1)	4 (2)	5 (2)	2 (1)	16 (7)
B 良かった	11 (3)	13 (6)	10 (4)	10 (4)	11 (8)	55 (25)
C どちらでもない	11 (5)	9 (5)	8 (5)	4 (1)	10 (5)	42 (21)
D あまり良くなかった	0 (0)	2 (1)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	7 (2)
E 全く良くなかった	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)

表26 講義の他の附属生への推奨度 (東広島のみ)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても勧めたい	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)
B 勧めたい	6 (2)	10 (7)	5 (2)	5 (2)	5 (3)	31 (16)
C どちらでもない	17 (6)	13 (5)	17 (10)	13 (5)	20 (11)	80 (37)
D 勧めたくない	2 (1)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
E 全く勧めたくない	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)

表27 講義の同世代への推奨度 (東広島のみ)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても勧めたい	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	3 (1)
B 勧めたい	4 (2)	9 (5)	4 (2)	3 (1)	5 (3)	25 (13)
C どちらでもない	17 (7)	14 (6)	18 (10)	15 (6)	19 (10)	83 (39)
D 勧めたくない	3 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	6 (1)
E 全く勧めたくない	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)

表28 講義の続きを受けたいか (東広島のみ)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても思う	0 (0)	4 (1)	2 (1)	0 (0)	5 (3)	11 (5)
B 思う	9 (2)	9 (5)	13 (5)	9 (5)	9 (5)	49 (22)
C どちらともいえない	7 (3)	6 (3)	7 (4)	4 (1)	5 (3)	29 (14)
D あまり思わない	7 (4)	5 (4)	2 (2)	4 (1)	5 (3)	23 (14)
E 全く思わない	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	7 (0)

表29 広島大学に関する認識

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても変わった	4 (2)	4 (2)	5 (2)	3 (2)	4 (0)	20 (8)
B ある程度変わった	13 (8)	8 (5)	11 (8)	15 (9)	18 (13)	65 (43)
C どちらでもない	14 (4)	14 (7)	19 (6)	17 (7)	14 (3)	78 (27)
D あまり変わらなかった	0 (0)	7 (0)	4 (2)	3 (1)	3 (3)	17 (6)
E 全く変わらなかった	1 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)

表30 広島大学に関する認識 (東広島のみ)

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても変わった	2 (1)	3 (2)	3 (2)	2 (2)	2 (0)	12 (7)
B ある程度変わった	10 (5)	4 (3)	6 (5)	8 (3)	10 (9)	38 (25)
C どちらでもない	10 (3)	8 (4)	12 (3)	8 (2)	11 (2)	49 (14)
D あまり変わらなかった	0 (0)	7 (0)	3 (2)	1 (0)	2 (2)	13 (4)
E 全く変わらなかった	1 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)

表31 志望校の変化

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 変化した	4 (2)	1 (1)	6 (2)	6 (3)	2 (2)	19 (10)
B 変化しなかった	27 (11)	33 (14)	33 (15)	31 (16)	37 (17)	161 (73)

表32 志望校の変化（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A 変化した	3 (2)	1 (1)	5 (1)	4 (2)	1 (1)	14 (7)
B 変化しなかった	20 (7)	22 (9)	18 (10)	14 (5)	24 (12)	98 (43)

表33 広島大学への進学

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても進学したい	6 (3)	1 (1)	3 (1)	3 (1)	4 (4)	17 (10)
B できれば進学したい	6 (2)	10 (6)	13 (8)	9 (6)	7 (3)	45 (25)
C どちらともいえない	12 (6)	14 (4)	18 (5)	16 (7)	22 (11)	82 (33)
D できれば進学したくない	8 (4)	2 (1)	3 (1)	9 (5)	2 (0)	24 (11)
E まったく進学したくない	0 (0)	6 (3)	3 (3)	1 (0)	2 (1)	12 (7)

表34 広島大学への進学（東広島のみ）

	1組	2組	3組	4組	5組	全体
A とても進学したい	3 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (3)
B できれば進学したい	3 (0)	7 (4)	7 (4)	5 (3)	3 (2)	25 (13)
C どちらともいえない	8 (3)	9 (3)	12 (5)	8 (2)	16 (9)	53 (22)
D できれば進学したくない	8 (4)	1 (1)	2 (1)	5 (2)	1 (0)	17 (8)
E まったく進学したくない	0 (0)	6 (3)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	11 (6)

4. 小 括

以上提示したデータによれば、本調査において次のことが分かった。

大学史の講義は実施の前後ともに生徒の興味を引き

(表12, 表23参照), 実施後の調査では40.4%の生徒が講義内容に興味を覚えたと回答した。これは12.6%の興味を覚えなかったとの回答を大きく上回った(表23より算出)。このような肯定的意見と否定的意見の比率の差を項目ごとに見ていくと, 講義が事前の期待通りであったか(表22)は50.8%({肯定的意見(A+B)の比率} - {否定的意見(D+E)の比率})の数值, 以下同じ), 講義を受けて良かったか(表25)は52.1%, 講義を附属高の他の生徒に勧めたいか(表26)は23.3%, 同年代の高校生に勧めたいか(表27)は16.8%, 講義の続きを受けたいか(表28)は25.2%, とそれぞれ肯定的意見が大きく上回った。

自由記述回答においては, 講演内容への興味について, 「広大が思っていたより由緒正しいのに驚き, うれしかったです」「日本のあり方と教育は深くつながりがあると思うので, その変せんを追うことは, 日本のあり方を追うことでもあるから」「大学のできてきた歴史がわかっておもしろかったから」などの肯定的意見が47件, 「大学の歴史にはそこまで興味がわかなかった」「大学のなりたち(?)とか, あんまり興味ないんで…」などの否定的意見が13件あった。講演を受けて良かったと思うかどうかについては, 「広大中心かと思ったけど, 日本の大学の始まりとか分かったから」「将来のビジョンの明確化ができた」「今まで漠然としていた大学像が少しはっきりしたから」などの肯定的意見が67件, 「けっこうどうでもいい内容だった気がした」「何もえられなかった」などの否定的意見が7件あった。

大学史の講義を他の生徒に勧めたい理由として「大学のことをもっと知った上で進路を決めた方がいいと思うから」「この講演を聞かないと, 広大について分からないと思うから」といった意見も寄せられ, 大学史教育が生徒の進学適性に対する自覚の形成に一定の意義を有していることがわかった。